

## 「地域住民における転倒、骨折及び運動器疾患発生の危険因子に関する疫学研究」に参加された住民の方々の情報の研究利用についてのお知らせ

この度、川崎医療福祉大学では『地域住民におけるサルコペニアの罹患率とその要因分析』という研究を実施することになりました。この研究の目的は、地域の高齢者における骨折発生に関わる要因であるサルコペニアについて、年間にどの程度それが発生しているか、またどのような要因を持っている人がそれらを発生しやすいかを調べることです。実際に転倒や骨折が起きる前に、自分がそのような状況にあることが判別できれば、運動や栄養、生活習慣を見直すきっかけになります。

この研究の対象となるのは平成26年から鳥取大学医学部保健学科(主任研究者 萩野浩)が実施している「地域住民における転倒、骨折及び運動器疾患発生の危険因子に関する疫学研究」に参加された方となります。調査項目は以下の通りになります。

基本属性(年齢、身長、体重、BMI、治療中の疾患)、サルコペニアの有無、転倒・骨折の発生有無、運動習慣に関するアンケート、ロコモティブシンドローム(ロコモ)筋肉量を含む体組成、骨量、握力、歩行速度、歩行加速度、円背指数、足腰の痛みの程度、生化学データ(血液検査、尿検査の結果)、基本チェックリストの結果

使用するデータは全て匿名化されており、お名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心ください。また、調査項目は既存のデータあり、何らかの負担が生じることはありません。

対象となる方の情報を研究に用いられたくない、または川崎医療福祉大学への情報の提供を停止したい場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。取り止めの希望を受けた場合、対象の方の情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

この研究の科学的妥当性と倫理性は、川崎医療福祉大学の倫理審査委員会において厳重に審査され、承認されています。また個人情報の安全保護についても、研究責任者の責任のもと、万全の体制下にて管理され実施されています。今回の研究で得られた結果は、医学的な専門学会や専門雑誌で報告されます。また知的財産が生じる場合もありますが本学に帰属します。

当該研究に係る資金源については、川崎医療福祉大学の研究費で行います。特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究は過去に鳥取大学で調査した方々の匿名化データを対象としているため、同意取得はいたしません。倫理審査委員会の指定する場所へのポスター掲示により診療情報提供の研究への使用の拒否の機会を保障します。具体的な内容を知りたい、あるいは、今回の研究に情報使用を拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

**【問い合わせ窓口】**

鳥取大学医学部保健学科基礎看護学講座

研究担当者：萩野 浩（はぎの ひろし） 連絡先：0859-38-6342

E-mail: hagino@tottori-u.ac.jp

川崎医療福祉大学 理学療法学科

主任研究者：松本浩実（まつもと ひろみ） 連絡先：086-464-1111（内線 54021）

E-mail: h.matsumoto0612@mw.kawasaki-m.ac.jp